令和８年度病害虫発生予察特殊報第２号

令 和 ８ 年 ７ 月 ２２ 日
千葉県農林総合研究センター長

サツマイモの白さび病の発生について

１　病害名：白さび病
２　病原菌：Albugo属菌
３　作物名：サツマイモ
４　発生経過
（１）令和８年７月、農林総合研究センター畑地利用研究室の試験ほ場で栽培されていたサツマイモにおいて、葉表面に退緑斑点（写真１）の発生、葉裏面に遊走子のう堆（写真２、３）が認められた。農林総合研究センター病理昆虫研究室で診断したところ、病徴及び遊走子のう（写真４）の検鏡結果から、白さび病と判断した。
（２）本病の県内での発生は、他のヒルガオ科（マメアサガオ、アメリカアサガオ）で確認されていたが、サツマイモでは初めて確認された。

５　病徴
病斑は、葉の表面に初め退色して輪郭が不明瞭な病斑が生じ、のちに淡緑色から黄褐色を呈する不整型の病斑となる。その裏面には白く盛り上がった複数の遊走子のう堆が集合して形成される。

６　病原菌の特徴と発生生態
（１）卵菌類の一種で、第一次伝染源となる卵胞子が水滴で発芽し、遊走子を放出する。遊走子が気孔から侵入し、感染に至る。
（２）菌糸が細胞内に蔓延することで表皮下に遊走子のうが多数形成される。その盛り上がった病斑の表皮が破れて、白い粉状の遊走子のうが飛散する。遊走子のうは、降雨や湿気による水滴によって発芽し、遊走子を放出する。遊走子は水中を泳いで作物に到着し、第二次伝染を引き起こす。

７　防除対策
（１）病原菌は、サツマイモの罹病組織内や罹病残渣中で生存し、越冬し伝染源となるため、残渣はなるべく圃場外に持ち出して処理する。
（２）窒素過多は発病を助長するため、施肥を適切に行い、過繁茂にならないように注意する。
（３）現在、本病に登録のある農薬は、ジーファイン水和剤（1,000倍、収穫前日まで）がある。



写真１　葉表面の病徴



写真２　葉裏面の病徴



写真３　遊走子のう堆

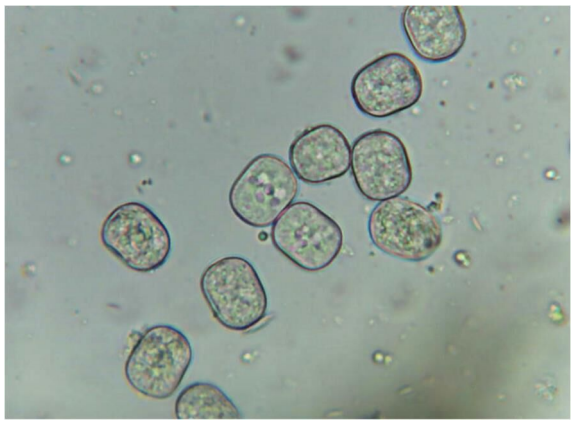


写真４　遊走子のう

・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/
・薬剤の選定については，最新の農薬登録情報を確認してください。
https://pesticide.maff.go.jp/

問い合わせ先
千葉県農林総合研究センター病害虫防除課
〒266-0014　千葉市緑区大金沢町 180 番地 1
TEL 043(291)6077　FAX 043(226)9107
E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp